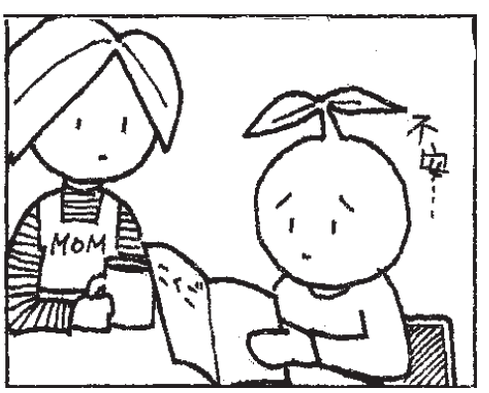
学習障害 (LD)

学習障害とは、
全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する等の能力のうち特定のものが不得手で、学習や生活に困難がある状態。です。
そう言われても、「目が悪いわけじゃないのに読めないとか、頭が悪いわけじゃないのに書けないとか計算ができないって、いったいどういう事だろう？」と思う人がほとんどですよね。

さて、あなたは右利きですか？左利きですか？
字を書いたり、はさみを使ったりするのは、利き腕を使いますね。右利きの人が左手で字が書けない、箸が使えないのは、左手に障害があるからではないですよね。
「今日１日利き手を使わないで、勉強 (もしくは仕事) をしてください。」と言われたら、あなたはいつも通りにノートをとったり、漢字の書き取りをしたり、作文を書いたりできますか？
私だったら、いつもの倍は時間がかかります。そして、ノートも漢字も作文も後から自分でも読めないような汚い字でいっぱいで、書いた字は恥ずかしくて他の人に見られたくないし、一日が終わる前にへとへとに疲れてしまうでしょう。
学習障害の人が、学校で他の子と同じ条件で勉強をするのは、こんな感じだと思います。もし、家族や担任の先生が子どもの学習障害に気づかなかったらどうなるでしょうか。
左利きという言葉を知らずに、左利きの子どもを育てるとどうなるか、考えてみてください。
「左の手でお箸を持っちゃダメだよ。」「どうしてみんなと同じように右手で書かないの？」「左手で絵を描くのは禁止！」「どうして書くのが遅いの？」「もっとていねいに字を書きなさい」「きれいに書けるように、漢字を百回ずつ練習しなさい！」「はさみもうまく使えないの？どうして？」
その子のためを思ってまわりの大人がかける言葉の一つ一つがその子にどんな影響をあたえるでしょうか？　左利きの子に一番必要なことは、まわりの大人が左利きだということに気づき、受け入れて、必要なことをサポートしてあげることですよね。右利きに矯正するという方法もありますが、左手で書くことを認める。左利き用のはさみを用意する。字がうまく書けなくても大目に見る (字は右利き用に作られているので)。などのサポートがあれば、左利きでも勉強や仕事をすることができるようになります。欧米でのディスレクシアは全人口の 10〜15%、日本では学習障害のある子どもが５%程度という報告があります。(日本語は漢字かな混じりのため、英語より読みやすいようです。) もしこれだけの子ども達 (もちろん大人になっても) が自分に合っていない方法で勉強しているのだとしたら、本当にもったいないですよね。

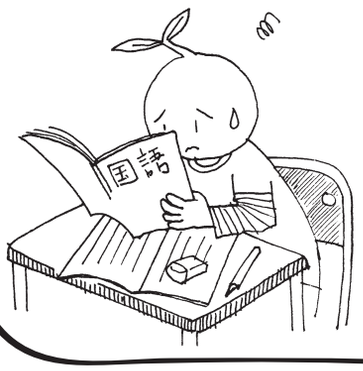


義務教育の９年間、さらに高校での３年間、学習障害と気づかれずに毎日学校でつらい思いをしている子どもがたくさんいます。もし身近に「あれ？この子読むのが (書くのが・計算が) 苦手みたい」と思う子がいたら、ぜひ声をかけてあげてください。

学習障害の人がどう感じているのか、本人以外の人が理解するのは難しいです。普通ならば「何の苦もなくできること」ができない感覚を、他の方法で例えてみました。もし自分が学習障害だったらどんな感じがするのか、疑似体験してみてください。

失読症　ディスレクシア

一文字ずつならば何とか読めるけど、読むのに時間がかかるので、長い文章になるとなんの事が書いてあるのかわからなくなってしまいます。漢字は細かい部分がよくわからないので読めません。音読の順番が回ってくると、つっかえつっかえしか読めないのでスゴク恥ずかしいです。字を書いても見直しができないから、作文や宿題はバツばかりです。テストは答えはわかるのに、問題を読むのに時間がかかるから、半分までしか解答できません。



こうしたら　いいかも

授業中は先生の話や友達の発言を聞くことに集中しよう。内容がわかれば、発表だってできるはず。音読は免除してもらおう。
iPad やデイジー教科書を使うと、図書館で本の音声データを借りて聞いたり、教科書の読み上げ機能を使って勉強できるよ。
色つきの透明シートをかぶせると読みやすくなる子もいるよ。
読みやすい色は人によって違うみたい。

書字障害　ディスグラフィア

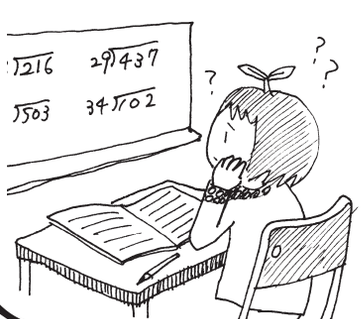
例えば、右利きの人が左手で書くみたいに、書くスピードがスゴク遅いし、線も曲がってしまい、きれいな字が書けません。一所懸命ノートを書いても読めないような字ばかりで悲しくなります。漢字のテストや作文もいつもバツばかりです。先生にも親にも友達にも書いた字を見られたくない。もう何も書きたくないから、学校に行きたくありません。

こうしたら　いいかも

ノートを書かずに、黒板をデジカメや iPad で撮影して残そう。
漢字の宿題は量を減らしてもらおう。
ドリルの問題はノートに書き写さないで書き込み式にしよう。
作文は iPad の音声入力を使って書いて、提出するときは紙に清書しよう。

算数障害　ディスカリキュリア

算数の時間に、頭の中の計算機を使うんだけど、私の計算機だと正しい答えが出ません。指を使えば何とか計算できるけど、数字が 100 とか 1000 とかになると、どうすればいいのかわかりません。自分で頑張っても、ものすごく時間がかかるので、みんなからどんどん遅れてしまいます。最近は難しすぎて、先生が言っていることがぜんぜんわからなくなってしまいました。



こうしたら　いいかも

授業で本物の計算機を使わせてもらおう。
計算して答えを出すことに重点を置かず、正しい式を書くことを目標にしよう。
計算ドリルなどは問題の数を減らしてもらおう。
算数ができなくても他の教科ができれば OK と考えを変えよう！

leaves 最終号より一部抜粋　www.interesse.biz/leaves より全文のダウンロードができます。

デイジー利用者 保護者の声

うちでは授業での使用は認められませんでしたが、音読の宿題にとても役にたっていました。いつもデイジー教科書が読むあとについて音読していました。家だから親が読んであげればいいと思うかもしれないのですが、年齢があがってくると親に読まれたくない、自分ひとりでやりたいという反発心がありました。速度調整や、文節ごとに光るのもとてもよかったです。

ディスレクシアにはほとんど絶望的な長さの、「スーホの白い馬」もデイジーのおかげで読みきっていました。(そのあたりは、少し無理をさせすぎてしまったかもしれませんが、読みの力の向上につながったと思います。)

「デイジーのゆっくりにしたときのしゃべりかたのモノマネ」を家庭内でするなど、デイジーは毎日の生活の一部でした。

長い文を読み切ったあとはいつもものすごく疲れていました。でも、今になって、少しずつ自分の好きな児童書をこっそり音読している姿を見かけるようになりました。デイジーで毎日音読していたおかげで、読むくせがついたのかもしれません。将来にきっとつながっていくと思います。
長々とすみませんでした！デイジー教科書の安定的な運営や発展をお祈りしています！
皆様によろしくお伝えくださいませ。

追伸
学年は、現在小学校３年生です。１～２年生の間デイジーを使っていました。
今は支援学級で、ディスレクシアの段階にあった内容の素材文を使っていただいているので（まどみちおの詩など、短いもの）デイジーは使わなくなってきました。
一度 iPad が壊れて、毎日使っていたので大あわてし、即座にアップルストアで翌日着で買ったことがありました。それほどまでに、デイジーは生活必需品でしたよ！